

問	解 答	解 説
問 1	イ 昭和 2 4 年 5 月 3 日	忍市として市制施行後、即時改称し行田市となりました。
問 2	イ 約 8 万 3 千人	行田市の人口は男性約 4 万 1 千人、女性約 4 万 2 千人です。
問 3	ア 2 5 8 億 5 千万円	予算とは、会計年度（4 月 1 日～翌年 3 月 3 1 日）ごとに税収入などを見積もり（歳入）、それに応じて、どのような目的にどれだけの経費を使うか（歳出）を、あらかじめ定めるものです。予算は、市議会の審議・議決を経て決定されます。平成 2 8 年度の一般会計当初予算は約 2 5 8 億 5 千万円です。
問 4	ア 静岡県浜松市	桑名市とは昭和 4 8 年に友好都市提携をしていましたが、平成 1 0 年に白河市を含めて、改めて友好都市提携をしました。これは江戸時代の三方領地替えにちなんでいます。
問 5	ア 1 4 0 0 年から 3 0 0 0 年前	行田市の天然記念物に指定されている行田蓮は花卉の少ない原始的な形態をもつ 1 4 0 0 ～ 3 0 0 0 年前の蓮であるといわれています。古代蓮は行田市のシンボルにもなっています。
問 6	ウ 4 2 種 1 2 万株	花の開花時期は種類によって異なりますが、古代種である行田蓮は 6 月中旬から 8 月中旬に咲きます。
問 7	ウ 前玉神社	前玉神社はさきたま古墳群に隣接する神社で、高さ 8 . 7 m、直径約 5 0 m の浅間塚古墳の上に建てられています。ご祭神は前玉彦命・前玉姫命の二柱であり、人の身を守り、幸福をもたらす神様が祀られています。
問 8	ア 武蔵水路	武蔵水路は、利根川と荒川を結ぶ全長 1 4 . 5 k m の水路で、都市用水の導水、浄化用水の導水、周辺地域への内水排除という 3 つの役割を担っています。
問 9	イ 2 4 市町	上尾市、伊奈町、桶川・北本水道企業団、鴻巣市、幸手市、杉戸町、宮代町、茨城県五霞町、久喜市、蓮田市、白岡市、行田市、羽生市、加須市、熊谷市、小川町、嵐山町、深谷市、上里町、本庄市、美里町、寄居町、神川町、以上 2 4 市町に水を供給しています。

問 1 0	ウ 久伊豆神社	久伊豆神社は、成田氏十四代下総守顕泰が忍城を築城の際に、鬼門の守護神として長久寺とともに文明年間(1469-1487)に創建したといわれます。明治42年に町内の26社を合祀、さらに昭和30年に楯場にあった赤飯稲荷神社を境内に遷座しました。
問 1 1	ウ 成就院	成就院にある三重塔は1729年に建立されたもので、昭和56・57年に解体復元工事を実施し、現在に至っています。塔内には、忍城主阿部豊後守忠秋より拝領と伝えられる葉衣(ようえ)観世音菩薩が本尊として安置されています。
問 1 2	ア 林 頼三郎	林頼三郎は旧忍藩士三輪礼三の四男として、現在の行田市に生まれました。東京法学院(現在の中央大学)を卒業し、19歳で司法官(現在の判事)試験及び弁護士試験に合格。その後、検事総長、大審院長、貴族院議員、司法大臣、中央大学総長等を歴任しました。昭和33年5月3日に行田市名誉市民第1号に推挙されました。
問 1 3	ア 氷河期	キタミソウはゴマノハグサ科キタミソウ属で、その名は明治34年北海道の北見地方で発見されたことからつきました。シベリアの雪がとけた湿地に生える植物なので氷河期の生き残りと言われていました。
問 1 4	イ 39体	国道125号線の市役所前から栄橋の間に860mにわたって並ぶ櫓の上には、昔ながらの遊びに興じる銅製の人形があり、街のシンボルにもなっています。「銅人形の童が遊ぶまち」と題された作品で、銅人形の制作は赤川政由氏によるものです。
問 1 5	ウ 2.4cm	足袋の文数は、昔の一文銭の直径(2.4cm)が基準とされています。親指の先からかかとまでの長さを測ります。
問 1 6	ウ 80%	行田の足袋は、主に旅行用や作業用のものが作られていました。行田は木綿の産地でもあり、近くに中山道が通っていたため、旅行や作業用の足袋づくりが盛んになったと考えられています。昭和13年の足袋生産量はおよそ8400万足で、これは全国生産量のうち8割を占めていました。
問 1 7	ア 恐竜と機関車	わらアートとは、稲わらを使った芸術作品のことで、角材や竹を用いて造られた骨組みに、乾燥させて編みこんだわらを取り付けて作成していきます。

問 1 8	イ ドラゴンクエスト	田んぼアートとは水田をキャンパスとして、色彩の異なる複数の稲を植えつけ、文字や図柄等を表現する取組です。2016年は過去最多となる色の違う9品種を使用し、最も長く続いている日本のロールプレイングゲームとしてギネス認定されたドラゴンクエストとコラボレーションしました。なお田んぼアートは古代蓮の里内にある古代蓮会館展望室から鑑賞することができます。
問 1 9	ウ 9基	前方後円墳8基と円墳1基の大型古墳が残る東日本最大規模の大型古墳群です。稲荷山古墳、丸墓山古墳、二子山古墳、将軍山古墳、愛宕山古墳、瓦塚古墳、奥の山古墳、鉄砲山古墳、中の山古墳の9つをさします。
問 2 0	イ 前方後円墳	前方後円墳は、古墳の形式の1つで、円形の主丘に方形の突出部が接続する形式で、双丘の鍵穴形をなします。主に日本列島で3世紀中ごろから7世紀初頭にかけて築造され、日本列島の代表的な古墳形式として知られています。
問 2 1	ア 稲荷山古墳	辛亥銘鉄剣とも呼ばれる国宝の金錯銘鉄剣が発見された稲荷山古墳は埼玉古墳群を構成する古墳の1つです。金錯銘鉄剣は、現在さきたま古墳公園内の埼玉県立さきたま史跡の博物館内で、窒素ガスを封入したケースに保管・展示されています。
問 2 2	イ 115文字	金錯銘鉄剣によって5世紀後半にはすでに大王の権力が九州から東国まで及んでいたことがわかります。また金錯銘鉄剣の両面に書かれている115文字の漢字は、金象嵌によって記されています。
問 2 3	ウ 八幡山古墳	八幡山古墳は、その周辺に広がる若小玉古墳群の中心となる古墳で、7世紀前半に造られた直径約80mの大型の円墳と推定されています。昭和9年の小針沼開拓事業の際に石室が発見され、調査の結果石室はほぼ南北に位置し、南を正面とする前・中・後3室からなる全長16.7mもの巨大な石室であることが明らかになりました。
問 2 4	イ 石田三成	石田三成は安土桃山時代の武将です。豊臣氏の家臣。関ヶ原の戦いにおける西側の指導者として知られています。

問 2 5	ウ 正木丹波守	忍城主、成田氏長の家臣。忍城水攻めの際に命を落としたすべての菩提を弔うために高源寺（埼玉県行田市）を建立したといわれています。
問 2 6	イ 進脩館	桑名藩主であった松平忠堯は1823年の三方領地替えによって忍藩主になり、桑名の藩校であった進脩館を忍で再興しました。藩学進脩館横額は市の有形文化財に指定されています。
問 2 7	ア 忍城おもてなし甲冑隊	戦国時代に秀吉軍と対峙した成田家の武将達をモデルに結成したのが忍城おもてなし甲冑隊です。主な活動内容としては忍城址・郷土博物館を中心に市内各所で観光客との記念撮影、勇壮な演舞パフォーマンスの披露を行っています。
問 2 8	ア おから	ゼリーフライとはじゃがいも、おからをベースに小判形に整え、油で揚げた食べものです。衣のついていないコロケといった感じで、中国東北地方にあった野菜まんじゅうを基にアレンジしたものといわれています。
問 2 9	ウ 青大豆	行田在来青大豆ともいい、古くから行田のあぜ道などで栽培されていました。通常の大豆より青みがかったのが特徴で、マメ特有の香りが高く、濃厚で個性的な食味が高く評価され脚光を浴びています。
問 3 0	ウ 初午の日	スミツカリとは、北関東地方に分布する伝統の郷土料理で、初午の日に作り赤飯とともに稲荷神社へ供える行事食です。鮭の頭と野菜の切りくずなど残り物を大根おろしと混ぜ合わせた料理で地域によってシモツカリ、ツミツカリ、ツミツカレ、スミツカレなど様々な呼び方があります。